

1) 改善係より報告

改善議題(1)：中高等部クラスの見直しについて

副運営委員長ルキマ氏より、1学期に改善委員が実施したアンケートの結果をもとに先生方と意見交換をし、算数・文化クラスの導入を含めた案を作成した旨、報告があった。案の内容については、保護者会終了後、児童5以上の該当保護者で話し合いをしたい旨、連絡があった

以下、改善係リーダー西畑氏より報告があった。

改善議題(2)：2016年度の教室確保について

これまで3階と4階の教室を使用してきたが、センター長の金子氏がカレッジ側と交渉を重ねた結果、来年度から2階と3階の教室を使用できるよう口頭で合意した。これにより、来年度必要となる教室数は確保できる見通しである旨、報告があった。

改善議題(3)：成人クラスの見直し

上述の通り来年度必要となる教室数は確保できるため、1学期にあげた成人クラスの廃止、縮小案は、必要なくなった。従って、成人クラスは今まで通り、5クラス編成で継続したい旨、提案があった。保護者に確認したところ異議はなく、拍手で合意した。

前回の朝の会において、成人クラスの主旨、財政について取り上げたものの、実際に成人クラスの設立経緯や存在意義を知る保護者が少なくなっている。年々センターの規模が大きくなり、運営委員もほぼ毎年交替する状況を踏まえ、まずはセンターのウェブサイトにも、成人クラスのできた経緯、歴史などを載せ、保護者への周知に努め、記録に残るようにしたいと考えている。今後、過去の運営委員や成人クラスの先生方から話を聞き、改善・運営委員で共同してまとめていこうと考えている旨、報告があった。ウェブサイトへの記載について保護者に確認したところ異議は無く、拍手で合意した。

2) 会計より諸連絡 (会計の野崎氏より以下の報告、提案があった)

1. 2学期は幸い不渡りが出ませんでした。3学期もよろしくお願ひします。
2. 3学期の授業料は10\$〔現状維持〕x10回の予定です。
3. 来年度の授業料は上がる確率が高いです。理由は賃貸料の値上げ、クラス増設による謝礼金の増加、その他、保険、会計士の費用増加等。
4. タックスリターンの領収書のため、子供や支払人の名前を会計のコンピューターに入力していない方は、会計までご連絡ください。
5. タックスリターンの領収書は、三学期授業料と引き換えに渡す予定です。

6. センターの余剰金について：センターには、過去3年間の余剰金（累計約\$5000ドル）があり、その使い道について提案があった。役員からは、本棚、スピーカー、プロジェクター、コピー機などの物品の購入をすればよいのではないかという案が出ている。他にいい案があれば、12月19日までにメール（info@japanesecener.com）、又は直接役員の誰かまで連絡してほしい。もらった案については全て役員が検討し、優先順位と理由をつけて、次の朝の会で報告・承認を促す予定である。以上の提案について保護者に確認したところ異議はなく、提案の通り進めることで合意した。

3) 2016年度 運営委員の選出

2016年度の運営委員について、以下の立候補者（敬称略）があった。保護者から異議はなく、拍手で合意した。従って来年度の運営委員は、以下の方々に決定した。

運営委員長：ソープ仁美

副委員長：阿部彩子、千田恵美

保護者代表：遠藤有希世、小池幸恵

会計：ギルボ伸代、清原由香里